

# 平成22年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	岡山県	市町村類型	IV-O	指定団体等の指定状況		区分		平成22年度(千円)		平成21年度(千円)		区分		平成22年度(千円・%)		平成21年度(千円・%)	
				財政健全化等	×	歳入総額	13,117,044	12,037,156	実質収支比率	10.6	10.2						
市町村名	美咲町	地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳出総額	12,089,784	11,188,141	經常収支比率	81.6	85.3						
				首都	×	歳入歳出差引	1,027,260	849,015	(※1)	(88.1)	(91.0)						
人口	22年国調(人)	15,642	産業構造	近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	170,151	40,874	標準財政規模	8,120,059	7,885,695						
	17年国調(人)	16,577		中部	×	実質収支	857,109	808,141	財政力指数	0.24	0.25						
増減率(%)	増減率(%)	-5.6	区分	過疎	○	単年度収支	48,968	317,255	公債費負担比率	25.6	27.6						
	17年国調(人)	16,127		17年国調	1,652	12年国調	1,672	積立金	769,070	264,855	健全化判断比率	-	-				
住民基本台帳人口	23.03.31(人)	16,127	第1次	山振	○	繰上償還金	53,498	45,654	実質赤字比率	-	-						
	22.03.31(人)	16,351		低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-						
面積(km <sup>2</sup> )	面積(km <sup>2</sup> )	232.15	第2次	指数表選定	○	実質単年度収支	871,536	627,764	実質公債費比率	19.2	19.6						
	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	67		2,291	2,846	基準財政収入額	1,371,983	1,471,107	将来負担比率	128.7	161.8						
世帯数(世帯)	世帯数(世帯)	5,531	第3次			基準財政需要額	6,227,675	6,234,422	資金不足比率(※3)								
				28.4	33.0	標準税収入額等	1,701,454	1,830,149									
職員等の状況						經常経費充当一般財源等	6,699,536	6,701,237									
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	歳入一般財源等	10,199,799	9,810,291							
	市区町村長	1	7,350	一般職員	183	564,372	3,084	地方債現在高	18,047,855	19,251,162							
	副市区町村長	1	5,980	うち消防職員	-	-	-	うち公的資金	13,101,249	13,653,862							
	取入役	-	-	うち技能労務職員	7	17,864	2,552	債務負担行為額(支出予定額)	1,442,543	1,837,002							
	教育長	1	5,590	教育公務員	-	-	-	収益事業収入	-	-							
	議会議長	1	3,150	臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	335,094	334,654							
	議会副議長	1	2,620	合計	183	564,372	3,084	積立金	2,420,262	1,651,192							
	議会議員	14	2,400	ラスパイレス指数			95.0	現在高	159,252	158,807							
								財政調整基金	2,282,418	2,276,324							
								減債基金									
							その他特定目的基金										

一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※2)	
(1)	一般会計	(9)	美咲町国民健康保険事業特別会計	(16)	美咲町榎原飯岡簡易水道事業特別会計	(28)	岡山県市町村総合事務組合一般会計	(48)	久米郡土地開発公社
(2)	美咲町みさきネット事業特別会計	(10)	美咲町老人保健事業特別会計	(17)	美咲町榎原北部簡易水道事業特別会計	(29)	岡山県市町村総合事務組合貸付金特別会計	(49)	財団法人 美咲町農業公社
(3)	美咲町住宅新築資金等貸付事業特別会計	(11)	美咲町介護保健事業特別会計	(18)	美咲町榎原中央簡易水道事業特別会計	(30)	岡山県市町村総合事務組合脱退還付金特別会計	(50)	株式会社 美咲物産
(4)	美咲町津山・榎原線共同バス運行事業特別会計	(12)	美咲町介護サービス事業特別会計	(19)	美咲町統合簡易水道事業特別会計	(31)	岡山県市町村総合事務組合交通災害共済特別会計		
(5)	美咲町津山・西川線共同バス運行事業特別会計	(13)	美咲町国民健康保険診療所事業特別会計	(20)	美咲町中央簡易水道事業特別会計	(32)	岡山県市町村税整理組合		
(6)	美咲町旭川ダム沿線バス運行事業特別会計	(14)	美咲町後期高齢者医療特別会計	(21)	美咲町中央北部簡易水道事業特別会計	(33)	岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計		
(7)	美咲町三休公園事業特別会計	(15)	久米郡介護認定審査事業特別会計	(22)	美咲町中央打穴・大井和簡易水道事業特別会計	(34)	岡山県後期高齢者医療広域連合特別会計		
(8)	久米郡障害程度区分認定審査事業特別会計			(23)	美咲町下水道事業特別会計	(35)	岡山県広域水道企業団		
				(24)	美咲町榎原公共下水道事業特別会計	(36)	津山広域事務組合一般会計		
				(25)	美咲町中央公共下水道事業特別会計	(37)	久米老人ホーム組合一般会計		
				(26)	美咲町土地開発事業特別会計	(38)	久米老人ホーム組合指定訪問介護事業特別会計		
				(27)	美咲町用地取得造成事業特別会計	(39)	榎原・吉井特別養護老人ホーム組合		
						(40)	津山圏域西部衛生施設組合		
						(41)	津山圏域衛生処理組合		
						(42)	勝英衛生施設組合		
						(43)	岡山県中部環境施設組合		
						(44)	榎原・吉井・英田火葬場施設組合		
						(45)	津山地区農業共済事務組合		
						(46)	津山圏域消防組合		
						(47)	津山圏域資源循環施設組合		

(注釈)  
 ※1: 經常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

## (1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,289,923	9.8	1,289,923	17.0	普通税	1,289,923	100.0	14,026	
地方譲与税	228,184	1.7	228,184	3.0	法定普通税	1,289,923	100.0	14,026	
利子割交付金	5,118	0.0	5,118	0.1	市町村民税	562,631	43.6	14,026	
配当割交付金	2,742	0.0	2,742	0.0	個人均等割	20,363	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	972	0.0	972	0.0	所得割	426,141	33.0	-	
地方消費税交付金	132,957	1.0	132,957	1.7	法人均等割	30,143	2.3	-	
ゴルフ場利用税交付金	20,728	0.2	20,728	0.3	法人税割	85,984	6.7	14,026	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	635,194	49.2	-	
自動車取得税交付金	49,413	0.4	49,413	0.7	うち純固定資産税	632,004	49.0	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	48,991	3.8	-	
地方特例交付金	40,186	0.3	40,186	0.5	市町村たばこ税	43,107	3.3	-	
児童手当及び子ども手当特例交付金	16,646	0.1	16,646	0.2	釧産税	-	-	-	
減収補填特例交付金	23,540	0.2	23,540	0.3	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	6,464,396	49.3	5,808,832	76.4	法定外普通税	-	-	-	
普通交付税	5,808,832	44.3	5,808,832	76.4	目的税	-	-	-	
特別交付税	655,564	5.0	-	-	法定目的税	-	-	-	
(一般財源計)	8,234,619	62.8	7,579,055	99.7	入湯税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	3,356	0.0	3,356	0.0	事業所税	-	-	-	
分担金・負担金	135,659	1.0	-	-	都市計画税	-	-	-	
使用料	241,550	1.8	3,216	0.0	水利地益税等	-	-	-	
手数料	15,723	0.1	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国庫支出金	1,367,325	10.4	-	-	旧法による税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計	1,289,923	100.0	14,026	
都道府県支出金	789,964	6.0	-	-					
財産収入	45,452	0.3	14,597	0.2					
寄附金	55,491	0.4	-	-					
繰入金	127,457	1.0	-	-					
繰越金	849,015	6.5	-	-					
諸収入	95,760	0.7	659	0.0					
地方債	1,155,673	8.8	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	609,773	4.6	-	-					
歳入合計	13,117,044	100.0	7,600,883	100.0					

地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	平成22年度	平成21年度	徴収率(%)	現・計(%)
市町村民税	98.7	95.5	98.5	95.7
純固定資産税	96.1	86.9	96.3	89.4

公営事業等への繰出				国民健康保険事業会計の状況			
合計	1,355,233	実質収支	22,628	合計	1,355,233	実質収支	22,628
下水道	313,089	再差引収支	-26,826	加入世帯数(世帯)	247,903	2,443	
簡易水道	247,903	加入世帯数(世帯)	2,443	被保険者数(人)	83,184	4,047	
介護サービス	83,184	被保険者数(人)	4,047	被保険者	119,825	109	
宅地造成	12,212	被保険者	109	1人当り	579,020	332	
国民健康保険	119,825	保険料(料)収入額	59				
その他	579,020	国庫支出金	109				
		保険給付費	332				

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	90,838	0.8	-	90,838	
総務費	1,888,477	15.6	65,262	1,622,394	
民生費	2,677,602	22.1	320,027	1,542,786	
衛生費	1,055,301	8.7	55,817	994,248	
労働費	17,000	0.1	-	-	
農林水産業費	768,122	6.4	211,958	486,044	
商工費	112,696	0.9	30,512	104,145	
土木費	943,857	7.8	551,015	693,087	
消防費	315,973	2.6	30,364	313,314	
教育費	1,377,240	11.4	726,542	707,150	
災害復旧費	168,988	1.4	-	4,264	
公債費	2,673,690	22.1	-	2,614,269	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	12,089,784	100.0	1,991,497	9,172,539	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	5,180,921	42.9	4,337,472	4,261,997	51.9
人件費	1,592,585	13.2	1,432,122	1,411,398	17.2
うち職員給	1,048,803	8.7	906,510	-	-
扶助費	914,646	7.6	291,081	291,081	3.5
公債費	2,673,690	22.1	2,614,269	2,559,518	31.2
内 元利償還金	2,673,361	22.1	2,613,940	2,559,189	31.2
記 一時借入金利息	329	0.0	329	329	0.0
その他の経費	4,748,378	39.3	4,017,676	2,437,539	29.7
物件費	1,478,634	12.2	1,138,355	811,545	9.9
維持補修費	25,864	0.2	21,216	20,216	0.2
補助費等	1,067,955	8.8	870,258	657,540	8.0
うち一部事務組合負担金	431,231	3.6	431,231	423,014	5.2
繰入金	1,330,445	11.0	1,215,911	948,238	11.5
積立金	826,004	6.8	769,460	-	-
投資・出資金・貸付金	19,476	0.2	2,476	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,160,485	17.9	817,391	-	-
うち人件費	64,014	0.5	64,014	-	-
普通建設事業費	1,991,497	16.5	813,127	-	-
うち補助	991,129	8.2	93,120	-	-
うち単独	910,873	7.5	654,769	-	-
災害復旧事業費	168,988	1.4	4,264	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	12,089,784	100.0	9,172,539	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成22年度 岡山県美咲町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)
Table with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)
Table with columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入金見込額, 資金不足比率, 備考

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)
Table with columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入金見込額, 備考

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支障の状況(単位:百万円)
Table with columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 経費又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの債務保証に係る負債残高, 当該団体からの損失補償に係る負債残高, 一般会計等負担見込額, 備考

公債費負担の状況(千円・%) and 将来負担の状況(千円・%)
Table with multiple columns for debt service and future liabilities, including sub-tables for interest and principal payments, and future debt ratios.

健全化判断比率
Table with columns: 健全化判断比率, 平成22年度(再掲), 早期健全化基準, 財政再生基準

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度別相当額は繰上不足額を考慮して算定した額を含んでいる。
※実質公債費比率の(ア)-(ウ)は特定財源の額を控除している。

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	16,127人 (H23.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	232.15 km <sup>2</sup>	連結実質赤字比率	-%
歳入総額	13,117,044千円	実質公債費比率	19.2%
歳出総額	12,089,784千円	将来負担比率	128.7%
実質収支	857,109千円	市町村類型	H18 IV-O H19 IV-O H20 IV-O
標準財政規模	8,120,059千円	(年度毎)	H21 IV-O H22 IV-O
地方債現在高	18,047,855千円		

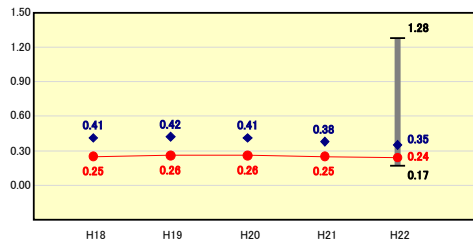
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
※充実可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
※類似団体内平均値は、充実可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

#### 財政力

財政力指数 [0.24]

類似団体内順位 27/33 全国平均 0.53 岡山県平均 0.44

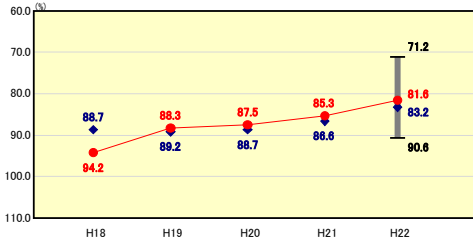


**財政力指数の分析欄**  
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(22年度末34.2%)に加え、町内の中心となる産業(農業)が低調なことから、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。組織の見直し等により歳入の削減に努めるとともに、地方税の徴収強化等の取り組みを行い、財政の健全化に努める。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [81.6%]

類似団体内順位 11/33 全国平均 89.2 岡山県平均 86.5

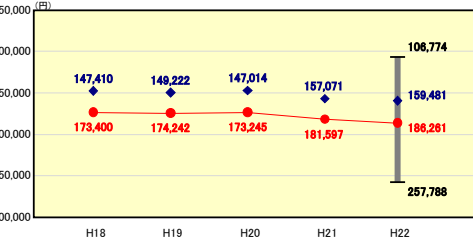


**経常収支比率の分析欄**  
類似団体の平均をわずかに下回っているが、扶助費・特別会計への繰入金・公債費の増加が大きな要因となっている。特別会計の合計への繰出については特別会計の歳入の見直しも含め削減に努める。公債費については、繰上償還を行うなど経常経費の削減に努めることにより、経常収支比率を低下させることを目標とする。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [186,261円]

類似団体内順位 29/33 全国平均 114,985 岡山県平均 116,134

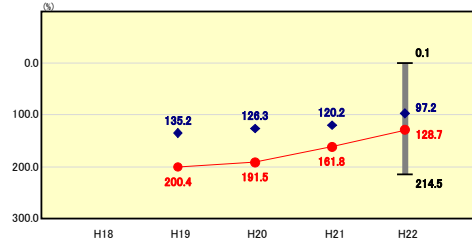


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
人件費及び物件費の合計額の人口1人あたりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に職員数が多いことにより人件費が嵩んでいることが要因となっている。今後は、新規採用職員の抑制により職員数を減員するとともに、物件費においても、民間委託が可能なものは、民間委託を進め、コストの低減を図るよう努める。

#### 将来負担の状況

将来負担比率 [128.7%]

類似団体内順位 25/33 全国平均 79.7 岡山県平均 99.7

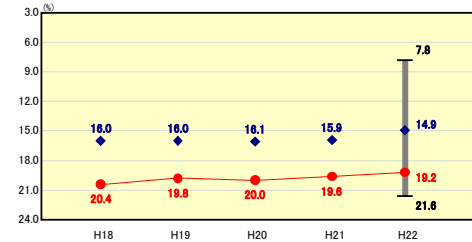


**将来負担比率の分析欄**  
類似団体の平均を大きく上回っているが、合併に伴い実施したラストワンマイル整備事業の実施が大きな要因となっている。今後は実質公債費比率と同様に起債事業の抑制・繰上償還の実施により財政の健全化を図り、早期に団体平均に近づけるよう努める。

#### 公債費負担の状況

実質公債費比率 [19.2%]

類似団体内順位 30/33 全国平均 10.5 岡山県平均 14.8

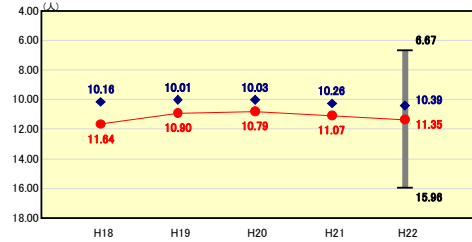


**実質公債費比率の分析欄**  
合併に伴い実施したラストワンマイル整備事業及び合併前に実施した事業並びに下水道事業による繰入金等が類似団体の平均を大きく上回っている大きな要因となっているが、公債費負担適正化計画に基づき新発債の抑制や繰上償還を実施し、H22年度の単年度数値では17.9%と改善されており、今後も比率が低下するものと見込んでいる。しかし類似団体平均との差は大きいことから、今後も計画に基づき新発債の抑制や繰上償還を行い、早期に同意団体の基準となる18%未満となるように努める。

#### 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [11.35人]

類似団体内順位 28/33 全国平均 7.24 岡山県平均 7.82

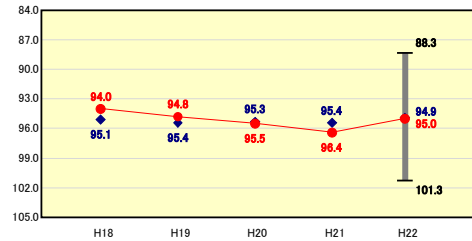


**人口千人当たり職員数の分析欄**  
合併により類似団体の平均を1.0人程度上回っている。今後は、新採用職員の採用を抑制し、人口1,000人当たり10人程度の職員数となるよう努める。

#### 給与水準 (国との比較)

ラスパイルズ指数 [95.0]

類似団体内順位 17/33 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



**ラスパイルズ指数の分析欄**  
類似団体平均を0.1%上回っている。各種手当の総点検を行い、給与の適正化に努める。

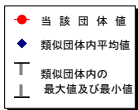
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

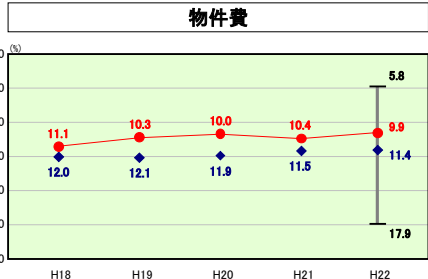
岡山県美咲町

## 経常収支比率の分析

人口	16,127 人(H23.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	232.15 km <sup>2</sup>	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	13,117,044 千円	実質公債費比率	19.2 %
歳出総額	12,089,784 千円	将来負担比率	128.7 %
実質収支	857,109 千円	市町村類型	H18 IV-O H19 IV-O H20 IV-O
標準財政規模	8,120,059 千円	(年度毎)	H21 IV-O H22 IV-O
地方債現在高	18,047,855 千円		



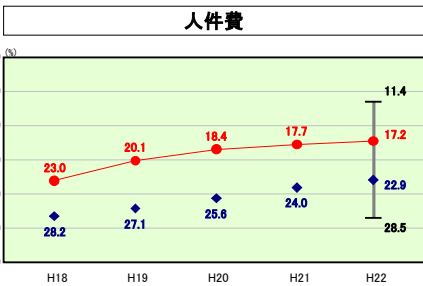
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 10/33 全国平均 12.8 岡山県平均 11.3

**物件費の分析欄**

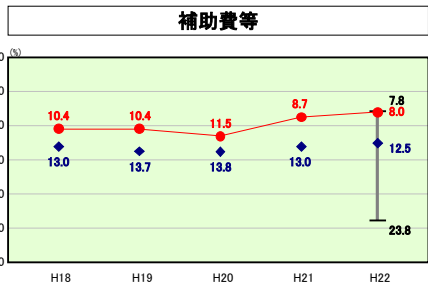
物件費は、類似団体と比較して、1.5ポイント低くなっているが、人ロー人当たり決算額では、大きく上回っており、物件費の抑制・削減に努める必要がある。



類似団体内順位 2/33 全国平均 25.1 岡山県平均 23.7

**人件費の分析欄**

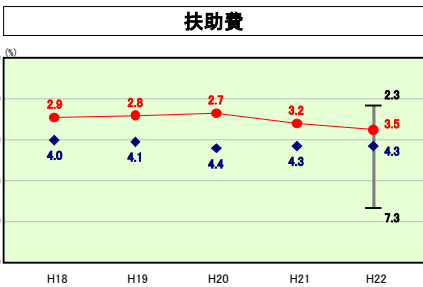
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(22年度末34.2%)に加え、町内の中心となる産業(農業)が低調なことにより、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。組織の見直し等により歳出の削減に努めるとともに、地方税の徴収強化等の取り組みを行い、財政の健全化に努める。



類似団体内順位 2/33 全国平均 10.1 岡山県平均 8.5

**補助費等の分析欄**

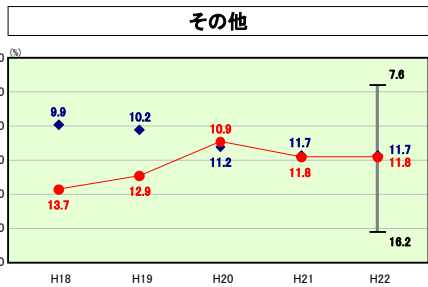
類似団体平均と下回っているが、今後も補助金交付事業の適切な管理を行う必要がある。



類似団体内順位 12/33 全国平均 10.4 岡山県平均 9.6

**扶助費の分析欄**

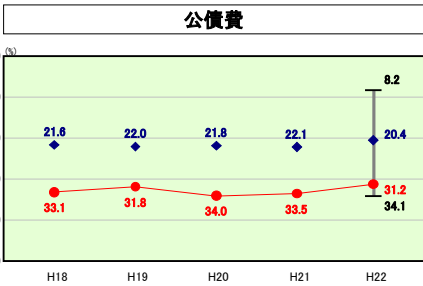
類似団体平均と比較すると下回っているが、年々上昇傾向にある。この要因としては生活保護費の増加と児童手当から子ども手当への移行が挙げられる。特に生活保護費については資格審査等を適正に行い、上昇を抑えるように努める。



類似団体内順位 17/33 全国平均 11.8 岡山県平均 13.7

**その他の分析欄**

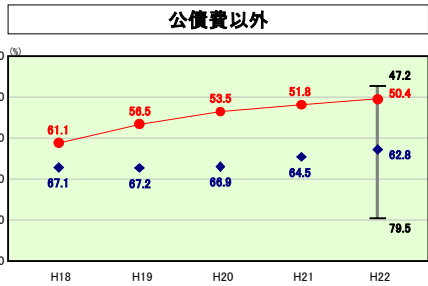
その他：その他に係る経常収支比率が類似団体平均を上回ってはいるのは、繰出金が増加の主な要因である。これまでに整備してきた簡易水道施設、下水道施設の維持管理費として公営企業会計への繰出金が必要となっているためである。今後は、簡易水道事業、下水道事業の経費を削減するとともに、独立採算の原則に立ち返った料金の値上げによる健全化を図るなどにより、税収を主な財源とする普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



類似団体内順位 32/33 全国平均 19.0 岡山県平均 19.7

**公債費の分析欄**

合併町の地方債を引き継いだこと、合併により必要となったラストワンマイル整備事業を実施したことにより地方債現在高が増加した影響で、地方債の元利償還金が膨らんでおり、公債費にかかる経常収支比率は類似団体平均を10.8%上回っている。公債費の負担は非常に重たいものになっている。公債費の償還のピークは平成21年と見込まれるが、今後とも非常に厳しい財政運営となることが予想される。今後は地方債事業の抑制及び繰上償還の実施に努める。



類似団体内順位 2/33 全国平均 70.2 岡山県平均 66.8

**公債費以外の分析欄**

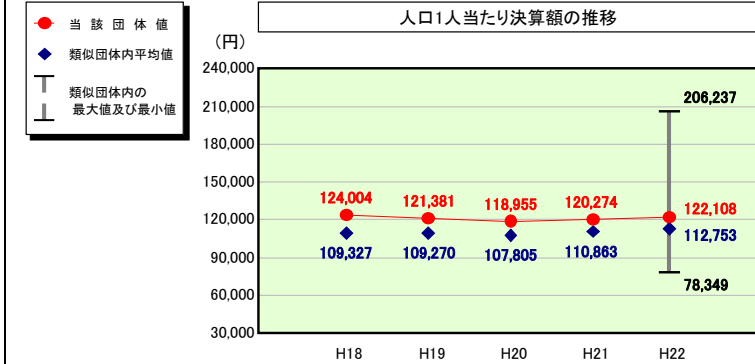
類似団体と比較すると平均を下回っているが、今後も適正な管理をしていくよう努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

岡山県美咲町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



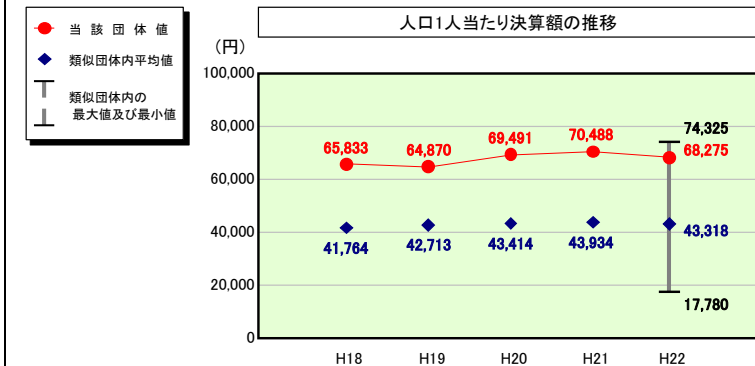
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,592,585	98,753	93,850	5.2
賃金(物件費)	182,796	11,335	8,151	39.1
一部事務組合負担金(補助費等)	220,064	13,646	14,138	▲3.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	21,698	1,345	2,287	▲41.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	45,334	2,811	4,496	▲37.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	64,014	3,969	2,070	91.7
▲退職金	▲157,262	▲9,751	▲12,240	▲20.3
合計	1,969,229	122,108	112,753	8.3

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.35	10.39	0.96
ラスパイレース指数	95.0	94.9	0.1

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

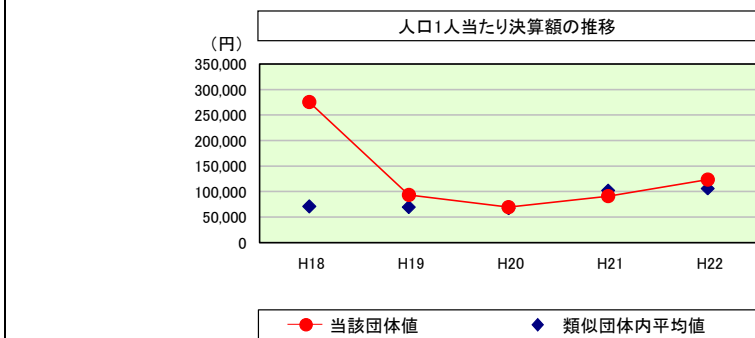


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,617,611	162,312	79,468	104.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	6	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	399,087	24,747	19,942	24.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	54,492	3,379	4,342	▲22.2
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	64,655	4,009	2,485	61.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	329	20	10	100.0
▲特定財源の額	▲59,421	▲3,685	▲3,169	16.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲1,975,678	▲122,507	▲59,766	105.0
合計	1,101,075	68,275	43,318	57.6

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

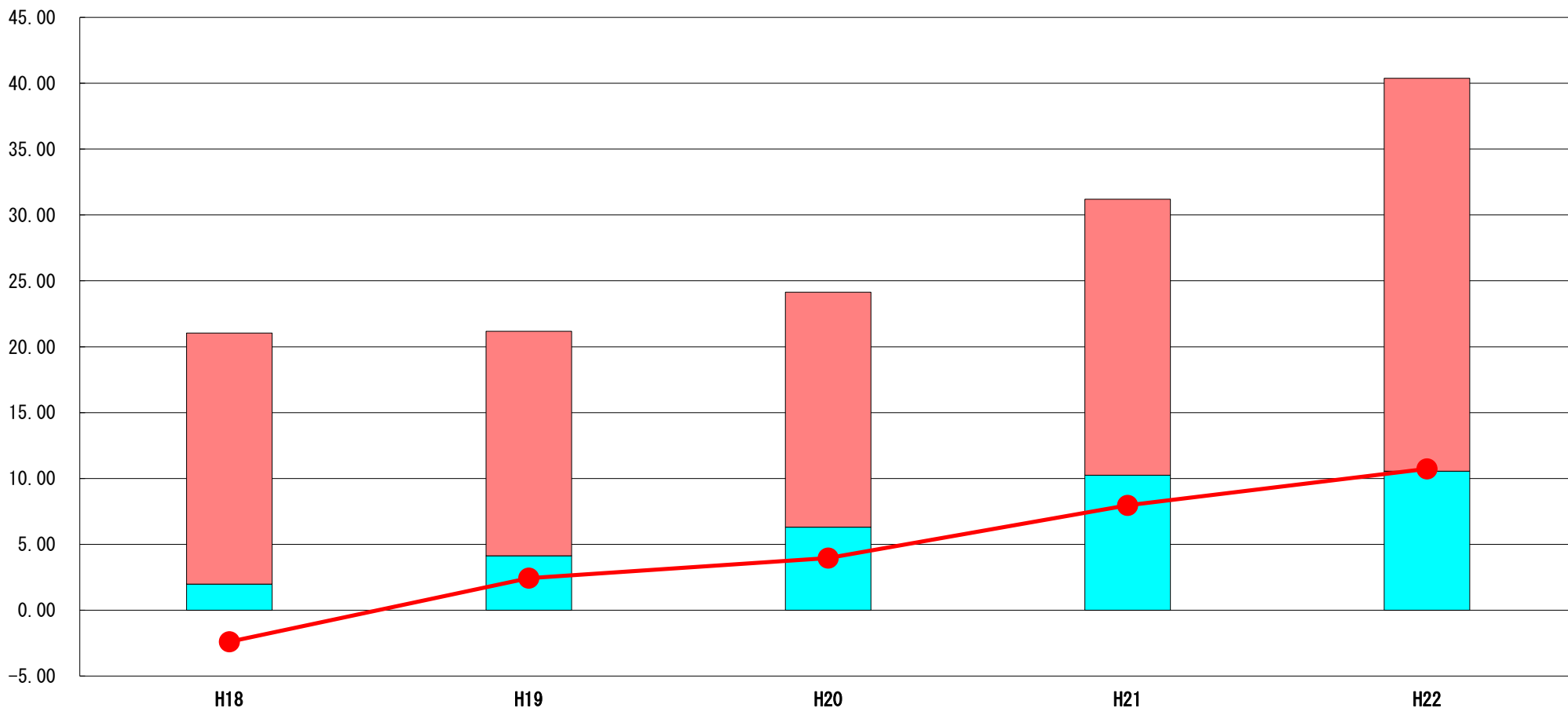
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H18	4,685,172	275,485	84.7	70,966	41.7	43.0
うち単独分	1,022,662	60,132	▲9.1	39,164	21.2	▲30.3
H19	1,569,388	93,460	▲66.1	69,282	▲2.4	▲63.7
うち単独分	889,406	52,966	▲11.9	32,828	▲16.2	4.3
H20	1,153,250	69,506	▲25.6	67,180	▲3.0	▲22.6
うち単独分	858,624	51,749	▲2.3	34,294	4.5	▲6.8
H21	1,490,754	91,172	31.2	102,412	52.4	▲21.2
うち単独分	1,325,586	81,071	56.7	58,752	71.3	▲14.6
H22	1,991,497	123,488	35.4	106,194	3.7	31.7
うち単独分	910,873	56,481	▲30.3	51,075	▲13.1	▲17.2
過去5年間平均	2,178,012	130,622	11.9	83,207	18.5	▲6.6
うち単独分	1,001,430	60,480	0.6	43,223	13.5	▲12.9

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成22年度

岡山県美咲町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		19.06	17.03	17.83	20.94	29.81
 実質収支額		1.98	4.14	6.31	10.25	10.56
 実質単年度収支		▲ 2.39	2.44	3.96	7.96	10.73

### 分析欄

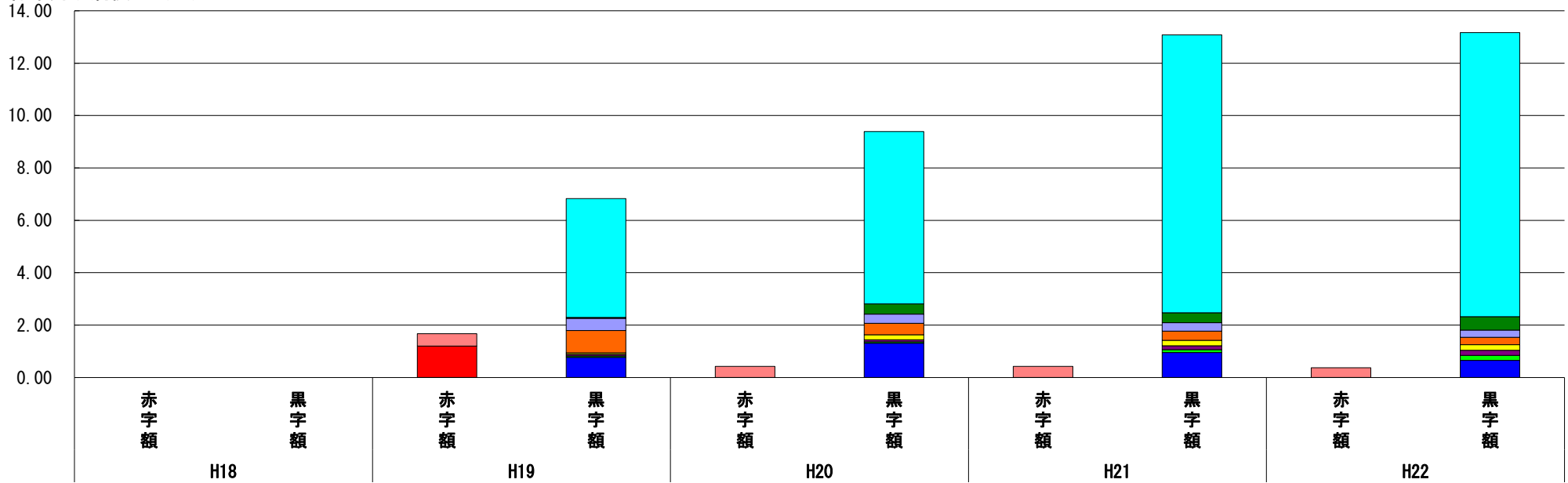
財政調整基金残高、実質収支額、実質単年度収支のすべてにおいて、上昇傾向にあるが、地方交付税の一括算定替を見据えて、健全な財政運営が要求される。

## (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

岡山県美咲町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	標準財政規模比（％）				
		H18	H19	H20	H21	H22
美咲町住宅新築資金等貸付事業特別会計		-	▲ 0.47	▲ 0.42	▲ 0.42	▲ 0.37
一般会計		-	4.54	6.58	10.61	10.85
美咲町柵原公共下水道事業特別会計		-	0.03	0.39	0.38	0.51
美咲町介護保健事業特別会計		-	0.47	0.35	0.32	0.28
美咲町国民健康保険事業特別会計		-	0.85	0.44	0.35	0.28
美咲町中央北部簡易水道事業特別会計		-	0.06	0.19	0.21	0.21
美咲町柵原飯岡簡易水道事業特別会計		-	0.06	0.08	0.15	0.20
美咲町柵原中央簡易水道事業特別会計		-	0.05	0.05	0.11	0.19
その他会計（赤字）		-	▲ 1.20	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.77	1.31	0.95	0.65

### 分析欄

平成22年度においては、住宅新築資金等貸付事業特別会計だけが赤字となっている。年々減少しているが、あらゆる手段を行使して、早期に黒字になるようする。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

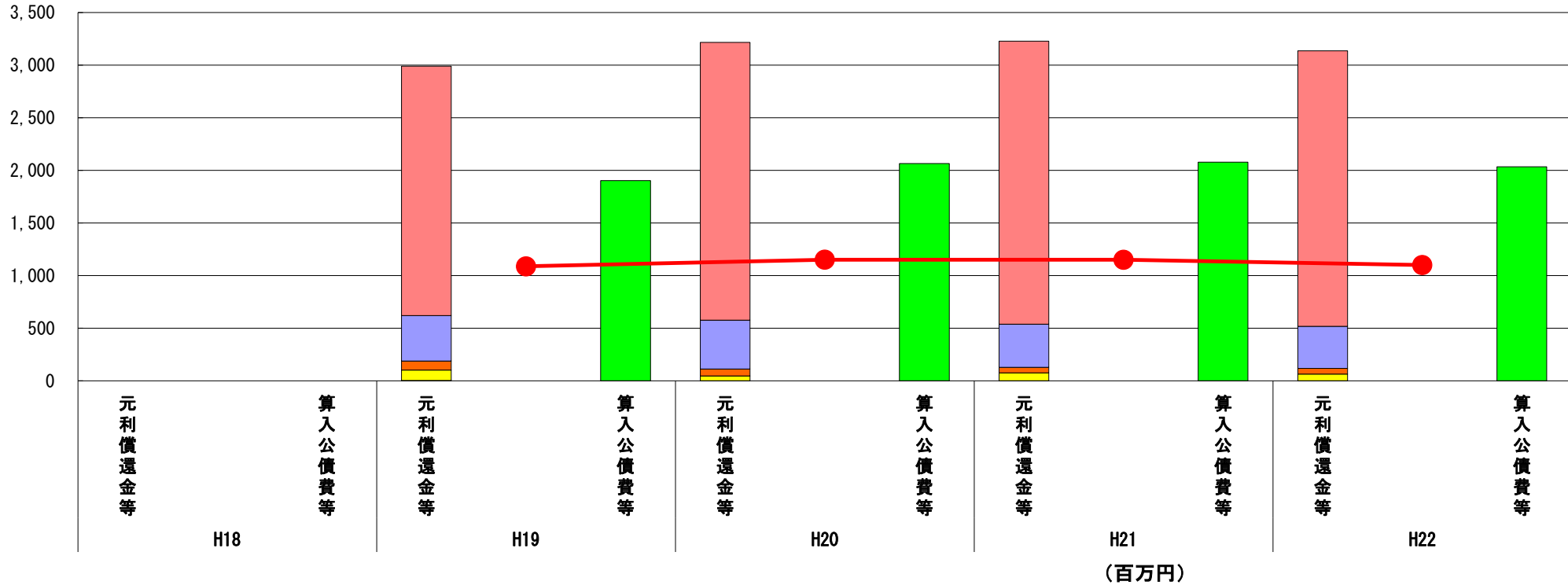


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

岡山県美咲町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	2,370	2,640	2,690	2,618	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	432	464	410	399	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	87	66	53	54	
	債務負担行為に基づく支出額	-	99	45	75	65	
	一時借入金利子	-	3	2	1	0	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	1,903	2,065	2,078	2,035	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	1,088	1,152	1,151	1,101	

## 分析欄

一番大きなウエートを占めている元利償還金については、合併前後に実施した大規模事業による起債発行のため増えていったが、平成21年度にピークを迎え、平成22年度以降減少していくことが予想される。今後は事業の適切な管理を行い地方債発行を抑制するとともに、計画的な繰上償還を行っていく。

元利償還金以外の分子も年々減少傾向にあるが、公営企業債の元利償還金に対する繰入金については、簡易水道よりも下水道事業のウエートが大きくなっている。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

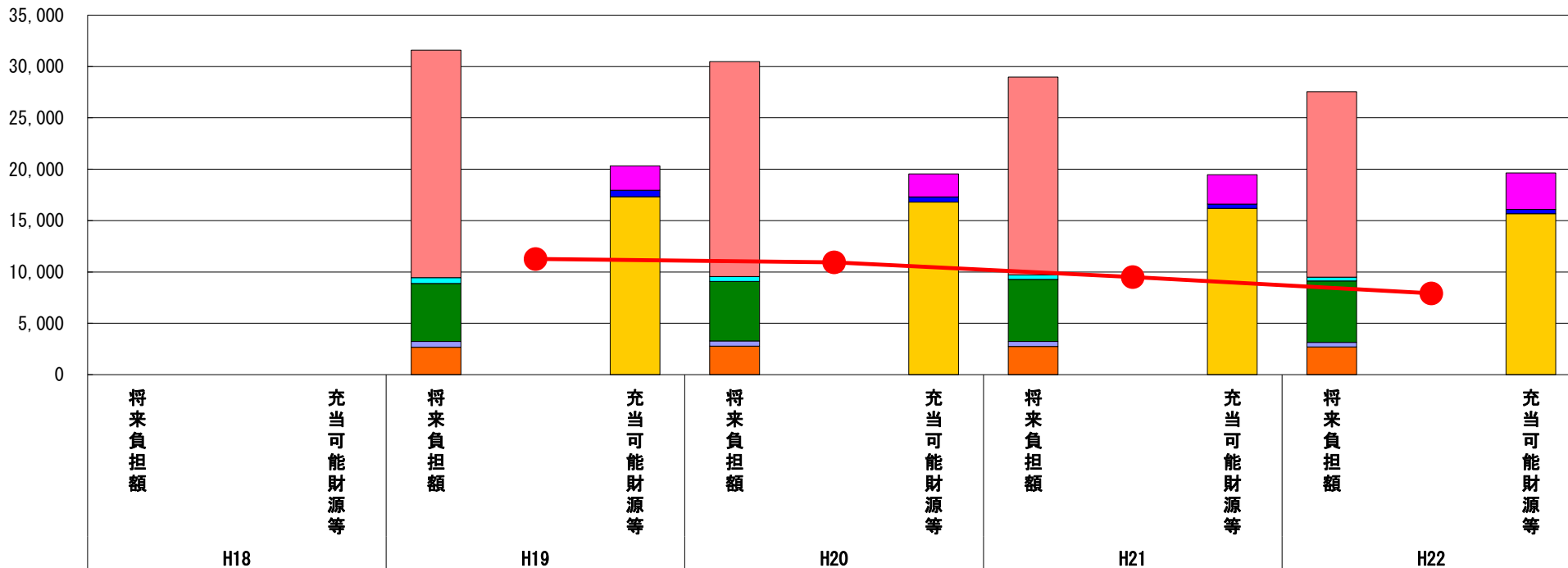
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

岡山県美咲町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高	-	22,143	20,916	19,254	18,048	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	557	484	430	361	
	公営企業債等繰入見込額	-	5,644	5,787	6,042	5,981	
	組合等負担等見込額	-	564	507	495	448	
	退職手当負担見込額	-	2,676	2,783	2,746	2,703	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	2,375	2,233	2,860	3,554	
	充当可能特定歳入	-	628	499	425	407	
	基準財政需要額算入見込額	-	17,321	16,808	16,181	15,668	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	11,259	10,936	9,500	7,912	

#### 分析欄

大規模事業が終了したことによりH20年度以降の地方債現在高は毎年10億以上減少しているが、なお高い水準にあるため今後も新発債の抑制や繰上償還を行い、更なる縮小に努める必要がある。  
 債務負担行為と組合等負担見込額は毎年減少しているが、公営企業債等繰入見込額はH20年度まで下水道事業と簡易水道事業を実施していたため増加している。以降は下水道事業のみとなるため減少していく。  
 充当可能基金については財政状況の許す範囲で積立を行ってをり、年々増加している。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。